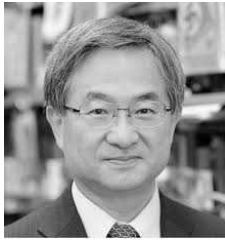


立憲デモクラシーの会やまがた 連続講座 第3回

白熱討論

憲法学の権威 水島朝穂(早大教授)の講演と
なぜ、いま、憲法改正なのか---
「9条加憲」から教育無償化まで



水島朝穂(みずしまあさほ) 1953年東京府中市生まれ。『現代軍事法制の研究』日本評論社、『憲法私論』小学館、『憲法を考える本』光文社文庫ほか多数。研究室には、「冷戦グッズ」や「ポスト冷戦グッズ」がゴロゴロある。

連続講座第3回目は、山形大学2018年度新入生歓迎行事の中で山形大学キャンパスにて開催します。今、国会では憲法9条改正の発議が今年度中に行われるかどうかという緊迫した局面にあります。このような情勢を控え、今回は、水島先生をお迎えして表題のテーマで講演を頂き、そのあとで山形大学の若い学生を交えての憲法改正をめぐる白熱討論を企画しました。9条1、2項をそのままにして、新たに「自衛隊」を書き加えることがどのような意味を持つのか、ここはとことん突き詰めた議論が必要です。また、大学生にとって死活問題の高等教育無償化の問題もあります。大勢の方の参加で熱いトークを盛り上げようではありませんか！

現憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

これに次のような内容の第3項を加える(例)

3 前条の規定は、我が国を防衛するための必要最小限の実力組織としての自衛隊を設けることを妨げるものではない。

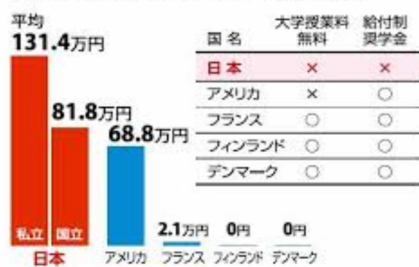
私たちの生活はどう変わるのか？

○ 北朝鮮がミサイル開発を進め、中国は尖閣諸島の領有権を主張している。・・・

防衛費は毎年最高額を更新し5兆円を超え、世界第7位(17年にもなっています)。他方、社会保障費は年々切り下げられ、奨学金は、返済不能の自己破産が直近5年間で一万件を超えています。OECD加盟の多くの国では大学授業料が無料、返済不要の給付型奨学金制度も充実しています。高等教育を無償化するのに憲法改正は必要なのでしょうか。防衛費を減らして、教育費や社会保障費の充実に当てることは出来ないのでしょうか？



世界では学費ゼロが当たり前



大学初年度納付金の比較 文科省「教育制度の国際比較」2013年度

○ 様々な立場から、「憲法9条改正について一緒に考えましょう。みなさんの多くが参加を期待します。」

社会保障費の自然増を削り続ける安倍内閣



日時：4月23日(月) 午後4時30分～
場所：山形大学・基盤2号館・221教室
資料代：500円(学生無料)